

科目名		経営財務論 I (Financial Management I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	前期 100分/週	45 時間		
担当教員		【常勤】 田川 晋也							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	企業が公表する財務諸表がどのような役割を果たしているのかについて学ぶ。講義では、会社を設立して営業を行っていくうえで、必要となる会計の知識、会計の処理について説明する。また、会計基準の国際的統合化の動きも考慮して授業を行う。必要に応じて事例を取り上げて、何が会計上問題なのかについて説明する。								
学習・教育目標	(C)①	JABEE基準1(2)			(d)-(f)				
関連科目、教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「1からのファイナンス」 榎原茂樹著 (碩学舎)								
補助教材等	プリント(演習問題)								
達成度評価 (%)									
ファイナンスの理論上の問題点を理解できる。								40	
ファイナンス実務上の問題点を理解できる。								40	
ファイナンス上問題となっている論点に文書で説明できる。								20	
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【論理的思考力】	○	○		○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点, 学習上の助言									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	0 ガイダンス 1 ファイナンスの種類	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・ファイナンスの特徴	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
2			
3	2 ファイナンスの基礎概念	・お金の時間価値を理解できる。 ・単利と複利を理解できる。 ・機会費用を理解できる。 ・リスクとリターンについて理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
4			
5			
6	3 資本調達方法と資本コスト	・資本調達に方法について説明できる。 ・資本コストの種類について説明できる。 ・加重平均資本コストが計算できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
7			
8	中間試験		
9	答案返却・解答解説 4 投資意思決定	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・投資決定のプロセスについて理解できる。 ・回収期間法とその問題点を理解できる。 ・正味現在価値法と問題点を理解できる。 ・内部利益率法と問題点を理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
10			
11			
12			
13	5資本構成	・資本構成と資本コストの関係を理解できる。 ・レバレッジ効果について理解できる。 ・MM理論について理解できる。	(予習) どのような場面で適用できるかを理解すること (復習) 課題や授業終了後の練習問題にて理解すること。
14			
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総学習時間数			45時間
講義			25時間
自学自習			20時間